

授業がもっとよくなる3観点 めりはりをつける

たとえば、**友とかかわって学ぶ場面を位置づけたのに**、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。



ある 「先生、何、話し合えばいいの？」と困っている。



書いておいた考えを
発表し合うだけで
黙ったり雑談したり
する。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。

子どもは、先生に促されたから話し合いをするという意識を持っていませんか？

かかわって学ぶ必要が希薄な、一人でも解決が可能な場面になっていませんか？

こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。



「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

(たとえば、こんな問いかけで対話を深めていきましょう)

- ・「子どもの視点」に立って実践を見直したら、〇〇先生はどんな気づきがありましたか？
- ・「子どもの視点」から掘り下げて考えたら、こんな問題に気付いたのですが、〇〇先生だったらどう考えますか？



メモ

試みたいこと

「めりはりをつける」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「めりはりをつける」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈学習指導〉⑧〈指導方法〉Doに関連しています。